



# かがやき №36



医療法人敬仁会  
函館おしま病院・訪問リハビリ  
訪問看護ステーションおしま  
R7.9

函館おしま病院は28床の緩和ケア病棟のみを有し、北海道内では唯一の独立型ホスピスとして運営しています。

●緩和ケアに特化したホスピス病棟

・全人的ケア…身体的な痛みだけでなく、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛にも対応。

・チームケア…医師、看護師、薬剤師、栄養士、ボランティ

アなど多職種が連携して支援。

・家族ケア…患者だけでなく家族も支援対象。遺族ケアとして茶話会等も開催。

●療養環境の工夫

・木の温もりを活かした内装で、病院らしさを感じさせない温かい雰囲気

・全室個室で、洗面・トイレ・テレビ・冷暖房・インターネット完備。

・消灯時間や面会時間の制限なし。ペットの面会や飲酒も可能。

●癒しの取り組み

・アロマセラピーを導入。英国CTA資格を持つスタッフが施術。  
・音楽などのイベント(コンサート、カラオケ、マジックショーなど)を定期開催。

・お花見、花火鑑賞など季節の行事や自然・芸術に触れる機会も提供。

●在宅ケアの充実

・緩和ケア訪問診療、一般内科訪問診療も行っており継続的な在宅生活の支援にも力を入れて取り組んでいます。

・訪問看護ステーション「おしま」による在宅ケア・訪問看護を実施し24時間体制での訪問看護も可能です。

・訪問リハビリテーションも行っており在宅での継続的なりハビリ提供にも対応しています。

●その他

一般内科外来診療も行っています。

函館おしま病院は「癒し癒され

る心からの医療」を理念に掲げ、患者さまとご家族がその人らしく過ごせるような支援を徹底しています。

事務長 菊地勝良

## 「ホスピス病棟」

6月よりホスピス病棟の師長を拝命いたしました 久保季美(くぼとしみ)です。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまは、『ホスピス病棟』と聞くとどんなイメージをお持ちになりますか？

私は、長く急性期の病院で働いておりましたが、ホスピス病棟は苦痛を緩和し、静かに穏やかに過ごされる場所とイメージをしておりました。

勤務して3か月が経ち、苦痛の緩和はもちろんのこと、さらに、患者さまとご家族がとても楽しい時間を過ごし、笑顔や笑い声もたくさんある場所だと感じています。

七夕、花火大会鑑賞、夏祭り、喫茶、患者さまのお誕生日会などたくさんイベントを実施しております。歌を歌ったり、音楽演奏を聴いたり、美味しい食事を頂いたりしています。

また、最近では、ペットの面会も増えており、患者さま・ご家族さまとともに、私たち職員も楽しい時間・癒しの時間を過ごさせて頂いております。

当院の理念にもあるように私たちは、患者さまとひとりの人間として向き合い、寄り添い「癒し癒される心からの医療」の提供を実践できるよう、日々研鑽を重ねてまいります。

まだまだ、未熟な点もございますが、患者さま、ご家族さま、そして職員の声にも耳を傾けながら安心して過ごしていただける病棟づくりに努めてまいります。今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。

ホスピス病棟師長 久保季美

# 「おしま病院夏物語 ～四季とともに歩む、癒しの場所～」

七月。病棟のロビーに、風に揺れる笹が飾られる。

その葉には、患者様とご家族様が書いた願い事がそっと結ばれています。

「元気に過ごせますように」「家族が健康でありますように、もう少し一緒にすごせますように」日常の尊さを思い出させてくれる言葉たちが、静かに風に揺れています。

七夕の日には、スタッフが病室を訪れ、女性の患者様は織姫に、男性の患者様は彦星に、ご家族様と写真を撮り、笑顔がこぼれるひとときを過ごします。願いは空へと舞い、天の川の向こうへと届いていきますように。

八月一日、函館港まつりの夜。空には大輪の花火が咲く、かつての函館大火からの復興を祈り、今では街の希望の象徴と

なったその光景を、病院の屋上から眺めます。

「ビューッ」と上がる笛の音、「ドン」と響く炸裂音、患者様、ご家族様が一緒に空を見上げるその瞬間、心がひとつになります。美しくも儂い花火の光が、静かに心を癒してくれます。



夏の終わり、夏祭り。病院の3階では、屋台が並び、たこ焼き、かき氷、アイスクリーム、わたあめ、そしてご家族様からの差し入れのすいかが彩りを添



えます。患者様・ご家族様が開催してくれたおみくじ屋台。そのおみくじを引く手、笑い声、賑わう声、そこには、病院という枠を超えた「ひとつの町」が広がっていました。

その日、一人の患者様が天国へと旅立たれました。息子様はマジシャン。「少しでも楽しんで、元気になってほしい」その思いを込めて披露されたマジックは、きつと天にも届いていたはずです。

祭りの終わりに、誰もが口にした言葉、「楽しい夏をありがとう」

とうとうそれは、病院が紡いだひとつの夏物語の締めくくりでした。

ここは、ただの医療施設ではない、願いを託す場所であり、笑顔を交わす場所であり、時には涙を分かち合う場所でもあります。

四季折々の行事を通して、患者様とご家族様の心に寄り添い、「生きること」の意味を静かに支えていくこの病院には、風が吹き、光が差す、そして今日もまた、誰かの大切な時間が、この場所でそっと流れていきます。

ホスピス病棟看護主任古村千保



### 3月 ひなまつり

あかりをつけましょ ぼんぼりに お花をあげましょ 桃の花 ♪



### 4月 お花見



### 6月 追悼会

1年間に関わりを持たせて頂きました患者様ご家族と。



### リクエスト食

お食事が皆様の癒しの時間になりますように



## 8月 花火大会



## ふれあい看護体験



## 9月 日本緩和医療学会北海道支部学術大会



## ボランティアコンサート



ご協力頂きました、スタッフ・ボランティア・患者様ご家族の皆さまありがとうございました。  
これからもたくさん素敵なイベントを開催出来るようにしていきたいと思ひます。

# 「Volunteer」

当院では今年6月から、ボランティア活動をして下さる方々の調整役としてボランティアコーディネーター、また入院中の患者様やそのご家族の方へ向けた緩和ケアの為の補完療法を行うセラピストを配置することとなり、私がこれらの役を担うこととなりました。

ボランティア活動に関わる皆様には、これまでも毎週木曜に当院3階にて喫茶でのピアノ演奏や歌、配茶のサービス、園芸、生け花、傾聴、院内での患者様とのイベントのお手伝いなど、様々な方面でご活躍いただいています。6月からは新しい



体制でボランティアコーディネーターとして、ボランティアメンバーの皆さんとの交流がスムーズに行えるよう皆さんの貴重なご意見を伺いながら、より一層様々な体験を患者様とご家族へ届けられるように努めたいと思っております。

そしてホスピス医療の中に



補完療法を取り入れていくという日本国内でも新しい取り組みである「緩和ケアの為の補完療法」では、植物から抽出される精油を用いたアロマセラピーや、英国のホスピスで考案されたHEARTS（ハーツ）プロセスというタッチケアセラピーを患



者様やご家族のこころと身体に寄り添えるよう、補完療法セラピストとしても従事させていただいています。

ホスピスにとって無くてはならないボランティアメンバーのみなさんから多くを学ぶ中、患者様やご家族に対して、私自身常に穏やかで、そして誠実な仕事ができるようこれからも努めていきたいと思っています。補完療法セラピスト、ボランティアコーディネーター

ウツド恭子

## 「在宅介護を、もっと

## と楽に気楽に♪

## 〜ベッド編〜

始めまして、訪問リハビリの大橋と申します。

訪問リハビリは今年の2月に開設し、在宅生活をされている方のリハビリテーションに関わらせていただいております。

さて、リハビリテーションの考えの一つに、「環境調整」というものがあります。この環境調整とは、わかりやすく言うと「対象者の能力を生かす事・介護者の負担を減らす事」です。昨今、福祉用具の進化は目覚ましいものがあります。私も「こんな便利なものがあつたんだあ。」と驚きの連続です。今回は、ちよつとした「環境調整」です。すこしでも楽に気楽になつてもらえたらと思い、2点ほどご紹介させていただきます。

① ベッド

ご自宅で、エアーマットを使っていらっしゃる方が多いと思います。エアーマットは床ずれ防止にとっても有効です。一方で、マットが柔らかいので寝返りや、起き上がりに力を要するという、デメリットもあります。また、介護者の力も逃がしてしまうため、介護する方も大変になります。ベッドの足元側に、装置が置いてあると思います。その装置を見てみてください。使用している会社によって表示名



は異なりますが、「クイックハード」・「リハビリモード」等、表

記されています。このボタンを押すと、1時間程度マットレスを硬くしてくれ、時間が過ぎると元の柔らかさに戻してくれま



② すべるシート



このシートは、ベッド上で寝返りや体位変換、起き上がりなどの介助負担を軽くしてくれるシートになります。使い方は、利用者さんの背中の下に敷くだけで、今までの力の半分くらいで介助が行えます。つるつるした長方形シートで大きさも数種類あり、利用者さんの体形や状況によって使い分けが出来るのも優れています。在宅では、特にベッドを起こすとお尻がずり落ちるため、寝る時に頭を枕の位置まで戻すのは重労働です。そんな時に、重宝するのが

この介護用品です。(※エアーマット利用時は若干不向きな場合あります) また、寝返りの介助するにも使用できます。様々な商品がありますので、インターネットで「ベッド すべるシート」などのキーワード入れて検索してみてください。

在宅介護では、様々な大変さがあると思います。そんな時「こんな道具あったらなあ」と考えたことありませんか？ そんな時は、当院リハビリスタッフや担当のケアマネさんに、お気軽にお声がけください！ きっといい方法があると思います。

訪問リハビリ 大橋悠介





**「癒し癒される心からの医療」**

040-0021

北海道函館的場町19番6号

**医療法人敬仁会**

**函館おしま病院・訪問リハビリ**

TEL 0138-56-2308

FAX 0138-56-2316

**訪問看護ステーションおしま**

TEL 0138-30-7287

FAX 0138-56-2317

web <https://www.oshima-hp.or.jp>

Instagram <https://www.instagram.com/oshima.hp/>

